

社会貢献の取り組み

For The Future

「北九州OPEN ～ 国際車いすテニストーナメント2011北九州～」に協賛

北九州では毎年、「北九州OPEN ～ 国際車いすテニストーナメント」が開催されています。

この大会は国際テニス連盟(ITF)、日本車いすテニス協会(JWTA)の公認大会で、障がい者の基礎体力と精神力の向上、ならびに健常者との交流を図りながら、社会に参加する意欲を高めることを目的として20年以上の歴史を重ねてきました。

当社と「YASKAWA未来クラブ」*は、大会の主旨に賛同して2009年からこの大会に協賛しています。今年も大会の運営には多くのボランティアが協力して、3月4日～6日の3日間の日程で開催されます。

大会協賛を通じて、北九州を舞台に繰り広げられる選手たちの熱い戦いを応援しています。

* 当社グループ社員により構成され、自発的な意思による社会貢献を目的とした組織です。



■お問い合わせ先 人事総務部 Tel 093-645-8801 Fax 093-631-8837

陸上部NEWS

詳細情報は <http://www.yaskawa.co.jp/activities/track-field/index.html> で公開しています。

ニューイヤー駅伝4位入賞で当社の2011年が明けました。

元日に全国生中継された第55回全日本実業団対抗駅伝競走大会(ニューイヤー駅伝)において、当社陸上部は4位ながらも安川史上最高の走りを演じました。

中野選手(1区)が先頭から8秒差でつなぐと、デスタ選手(2区)が一時先頭に並び走りを見せました。昨年は2区で流れに乗れなかったのですが、今年は先頭が見える位置でつなげたことがその後のレースに勢いを与えました。そして北島選手(3区)も一時先頭に並び走りを見せ、中本選手(4区)が22.3kmという長い区間にも関わらず脅威の粘りを見せ2位でタスキを中継しました。この良い流れは後半にも引き継がれ、黒木選手(5区)が激しい先頭争いの末僅差でタスキ中継、小畑選手(6区)でついに独走態勢となりました。6区終了時点で当社陸上部が先頭に立ったのは史上初です。先頭でタスキを受けた飛松選手(7区)は3名に抜かれましたが、そこから粘り強い走りを見せ、見事4位でフィニッシュしました。

過去に遡れば、92年に過去最高の3位、08年の4位に匹敵する結果です。しかし、今回大きく飛躍したことは、最後まで「優勝争い」に絡めたことです。

2区から7区前半までの4時間弱、これだけの時間当社陸上部が全国中継の画面に映ったことは初めてでした。今回ダークホース的な存在でレースに挑みましたが、この結果は選手にとって大きな自信となりました。

今回得た自信が今後のチーム作りに役立つよう、今年も精進して参ります。



スタートに向け
気合いが入る
中野選手(左)と、
粘りの走り
で上位入賞を確
実にした4区
の中本選手(右)。

◆2010年10月～2011年1月の主な戦績

日程	大会名	実績
10月 3日	福岡県選手権10マイル	種子野選手4位
10月 17日	アムステルダムマラソン	中本選手9位(日本人最上位)
10月 29日 ～11月 7日	九州一周駅伝	立石、黒木、平野、中野、久保田、種子野、後藤の7選手が福岡県代表として出場し、2位
11月 23日	九州実業団毎日駅伝	前半苦戦、中盤で一時先頭に出るも2位
12月 5日	福岡国際マラソン	岡田選手38位
1月 1日	ニューイヤー駅伝	2区以降優勝争いを演じ4位
1月 10日	朝日駅伝	今回で最後となる大会を2位で締める

監督の声：

平素は安川電機陸上部に暖かいご声援を賜り誠にありがとうございます。
今年のニューイヤー駅伝では選手全員が持てる力をしっかりと出し切ってくれたおかげで目標の8位を大きく上回る4位の成績を勝ち取ることができました。
また、今回は終始先頭争いできたことでこれからの大きな自信となりました。
今後この成績に恥ずかしくない走り続けていけるように更に精進してまいりますので引き続きご声援をお願いいたします。

山頭 直樹